



千代田区議会 自由民主党

池田とものりの 区政レポート

子育て世代への給付金
出席者全員の賛成で可決!

災害時 寄り添いサポーターの集い

「ちよだボランティアセンター」主催の「災害時寄り添いサポーター養成講座」を受講された方・受講予定の方を対象とした自主的な勉強会がスタートしました。講座で災害時に配慮が必要な方々の生活を支えるための基礎知識を学び、勉強会では実際の災害時にどんな活動ができるかを参加メンバーで話し合いました。相互に情報交換しながらコミュニティを作る場となっています。防災士の資格がなくても「防災」について考える機会を増やすことで、防災意識を持ち続ける大切さを確認しています。



予算要望書 を提出

令和5年度の予算編成への要望書『区民生活の安全と安心を支える区政の実現』を区長部局へ提出しました。会派として各種団体から受け取った予算要望は、継続的なものに新規事業も加わり、子育て支援、高齢者・障害者支援、地域コミュニティの充実、災害対策、消費生活の支援など、多岐にわたりました。新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、区内全域でにぎわいが戻りつつある中、明るい新年度を迎えられるようさらなる区民サービスと福祉の向上に努め引き続き安全・安心な千代田区を目指してまいります。



子育て世帯への 給付金を決定

令和4年度一般会計補正予算のうち、「子育て・教育応援給付金事業」は物価高騰に直面する子育て世帯の経済的負担を軽減するため、対象児童1人につき5万円を支給するもので、所得制限を設けない区独自の給付金です。予算特別委員会において出席者全員の賛成で可決いたしました。年度内の支給となりますのでご確認ください。(最終支給：令和5年3月31日予定)

東京都後期高齢者医療 広域連合議会報告

広域連合議会は、区議会定例会と並行して開催され、条例改正や議案審査など進行を妨げることなく終了いたしました。10月より後期高齢者の医療費の窓口負担割合が見直されました。現役世代の負担を抑え、未来へつないでいくためのものです。

⚠️ ご注意ください!

厚生労働省や地方自治体が電話や訪問で口座情報登録をお願いすることや、キャッシュカード、通帳などをお預かりすることは**絶対にありません!**

区議会定例会において 一般質問 を行いました！



食品ロス削減への取り組みについて

庁内の連携について

2020年3月に「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」が閣議決定され、各自治体での「食品ロス削減推進計画」の策定が努力義務化されました。23区では2021年6月に初めて江戸川区が、10月に北区、そして本年7月に世田谷区で策定されました。

庁内での意識を高めるには、食品ロス削減に取り組む所管を明確にすべきと考えます。



池田

区内の飲食店や事業者、区民一人ひとりからの食品ロス削減への関心が高まる中、庁内を連携し取りまとめる体制が不可欠と考えますが、...

回答

食品ロスの削減は、ごみ減量、ゼロカーボンなど、**清掃事務所**や**環境政策部門**が中心となって検討すべき課題であると認識している。飲食店での食べ残しの削減、フードドライブの実施、家庭での消費行動の変容促進など、実践には**商工振興**や**消費生活部門**との連携が不可欠である。子どもたちに食の楽しさや大切さを理解してもらうことも重要であり、**こども部**や**保健所**との連携も欠かせない。情報発信やマッチングなど**デジタル技術の活用**、さらに**区職員の意識改革**も重要であり、食品ロス削減は区の組織横断的な連携体制の下で計画の策定や施策の推進を図っていく。

食品ロス削減推進計画の策定について

区民の皆さん、飲食店や関係事業者、教育機関などそれぞれの立場から現状を理解し行動してもらうためには行政機関として一般廃棄物処理基本計画の見直しを検討するだけでは不十分と考えます。

池田

環境モデル都市千代田として、一般廃棄物処理基本計画から一歩抜け出し「千代田区食品ロス削減推進計画」を策定することを求めます。

回答

様々な主体に関わる取り組みとして広範な理解を得て進める必要がある。また我が国の中枢機能が集積し24時間活発で多様な都市活動が繰り広げられている千代田区の地域特性を踏まえ、食品ロスの現状とその削減に向けて様々な観点から深く検討する必要がある。

一般廃棄物処理基本計画のひとつの章というような形ではなく、独立した分野別計画として策定する方向で検討していく。

千代田区版食品ロス削減推進計画に向けて始動します！



今後の環境教育について

食えることをの大切さ、無駄なく食べる、自然の豊かな恵みである「良いもの」を食べることから「食は人を良くする」と認識することが食育に通じるのかもしれません。学校や園で環境問題のひとつとして食品ロスを減らすことを学んだ上で、多方面から幅広く知識を深めることも大切です。食品ロスを減らすために家庭でできることをしたり、親子クッキング教室や家庭菜園体験講座などに参加したりすることで理解が深まります。

池田

環境教育の一環として、食品ロス教育、学校給食、食育の推進などを含めた食品ロス削減推進計画の策定について教育委員会としてのお考えは。

回答

「食品ロス削減推進計画」が策定されれば、食の大切さや食品ロスが及ぼす環境への影響についての学習などを推進することで子どもたちの意識をより一層高め、家庭や地域と連携した食品ロス削減などの環境教育に引き続き取り組んでいく。

ドッグランの設置について

本区では飼育犬の登録数が増加傾向にあり、災害時の避難所でのペットへの対応が想定されるほどです。期間限定で開催された大手町川端緑道沿いのドッグパークの利用には事前塘路港が必要です。利用には事前登録が必要ですが、区内唯一のドッグランのため、大好評で利用者が増えて利用者が増えているようです。一方、区内でもやや遠方にお住いだったり、週末に出かけられなかったりと利用しにくい方もいます。例えば、遊具がない公園や広場を、「時間を区切る」「場所を仕切る」などしてドッグランとして開放できないでしょうか。または、区内の低未利用地やあまり利用されていない児童遊園を有効利用できないでしょうか。

https://riverside-dogpark.com/



池田

民間と連携するなどして低未利用地や児童遊園などにドッグランを設置することを期待します。見解をお聞かせください。

回答

極めて高度に都市化が進む千代田区では、ドッグラン用地に必要な面積の確保や近隣の理解を得ることが難しいなど場所の問題、運営の担い手、財源の確保などの課題がある。今後、この試行の実績、評価などを踏まえ、同地域での継続実施や他地域のエリアマネジメント団体との連携、区の道路や広場、暫定空地の利活用など、さらなる実施の可能性を検討していく。

公式ホームページでも最新の活動を随時配信中です！ www.ikedatomonori.net

池田とものりPROFILE

「保健福祉委員会」(常任委員会)委員長 「環境・まちづくり特別委員会」 「議会のあり方調査検討特別委員会」 「議会運営委員会」

TOKYO 自民政経塾第10期生

自由民主党千代田区第十六支部支部長

平成27年4月 千代田区議会議員選挙 初当選(747)

平成31年4月 千代田区議会議員選挙 第2期目当選(726)

★昭和44年10月28日、麹町で生まれる ★昭和51年 麹町保育園卒園 ★昭和57年 麹町小学校卒業 ★昭和60年 麹町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業

★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業 ★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに ★平成20年度・21年度 麹町小学校PTA会長

★平成25年～平成29年 共立女子学園後援会副会長 ★平成29年度・30年度 共立女子中学高等学校PTA会長 ★元共立女子中学高等学校後援会会長

現在 有限会社八百鶴商店 取締役 ★平成15年～26年・30年～ 千代田区スポーツ推進委員 ★千代田区ドッチビー協会会長 ★千代田区相撲連盟顧問

★千代田区ラグビー・フットボール協会理事 ★初級障がい者スポーツ指導員 ★災害時寄り添いサポーター ★認知症サポーター

(趣味)けん玉(初段)「連続大皿成功ギネス記録達成127人の一員(紅白歌合戦出場)」・ボウリング・ドッチビー(指導・審判員資格取得)

池田とものり事務所

〒102-0071 千代田区富士見2-15-8-902

TEL:090-1254-2709

mail:ikedatomonori.turu@gmail.com

